

令和4年度 自己評価計画書

| | | | | | | | 石川県立内灘高等学校 | |
|------|--|--------------|---|--|---|---|---------------------------|----------------------------|
| 重点目標 | 具体的取組 | 主担当 | 現状 | 評価の観点 | 実施状況の達成度判断基準 | 判断基準 | 備考(時期・対象) | |
| 1 | 分かる授業の実践と家庭学習時間確保 GIGAスクール構想の一人一台端末を活用し、生徒の学ぶ意欲を高め、基礎学力の向上を図り、進路実現につなげる。 | 教務課 進路指導課 | 授業評価アンケートにおける端末活用についての肯定的な回答が58%にとどまっており、学習意欲の喚起と家庭学習時間の確保につなげる必要がある。 | 【満足度指標】 授業等においてChromeBookやiPad等の情報機器が効果的に活用され、学習意欲の喚起につながっている。 | 「授業等において情報機器が効果的に活用されて学習意欲が高まった」と回答する生徒の割合が A 80%以上 B 70%～79% C 60%～69% D 60%未満 | C、Dは具体的な改善策を検討する。 | 授業アンケート (7月、12月／生徒対象) | |
| | | | | 【満足度指標】 学力向上のために、授業の目標やねらいを明確にして、内容の説明や教材が工夫されており分かる授業が展開されている。 | 「授業の説明や教材が工夫されており、分かりやすい授業である」と回答する生徒の割合が A 80%以上 B 70%～79% C 60%～69% D 60%未満 | C、Dは具体的な改善策を検討する。 | 授業アンケート (7月、12月／生徒対象) | |
| | | | | 【成果指標】 生徒がオンライン学習を含めて1日1時間以上の家庭学習時間を確保している。 | 「オンライン学習を含めた家庭学習時間が1日平均1時間以上」と回答する生徒の割合が A 70%以上 B 60%～69% C 50%～59% D 50%未満 | C、Dは具体的な改善策を検討する。 | Classi学習時間集計 (随時／生徒対象) | |
| | | | | 適切な質・量の課題を課すことができた教員は79%である。今後も課題設定において学習状況の把握と学力定着の支援が求められる。 | 【努力指標】 生徒個々の学習状況の把握や学力定着を図るために適切な質・量の課題を課すことができる。 | 「生徒個々の学習状況を把握し、学力定着を図る課題を課している」と回答する教員の割合が A 80%以上 B 70%～79% C 60%～69% D 60%未満 | C、Dは具体的な改善策を検討する。 | 学校評価アンケート (7月、12月／教員対象) |
| | | | | 1年生の進路意識が低い場合、機会を捉えて学ぶことの意義を考えさせ、進路実現の見通しを持たせる。 | 【成果指標】 進路ガイダンスや進路講話等を利用して、1年、2年における進学又は就職の希望未定者を抑制する。 | 「進路未定者の割合を1年は10%以下、2年は5%以下とする」ことについて A いずれの目標も達成できた B 片方の目標を達成できた C どちらの目標も達成できなかった | Cは具体的な改善策を検討する。 | 進路志望調査 (5月、9月、1月／生徒対象) |
| | | | | 昨年度の4年制大学進学者は5名、就職希望者の就職決定率は100%であった。 | 【成果指標】 個に応じた進路指導を行い、4年制大学進学者5名以上、就職希望者の就職決定率100%を達成する。 | 「4年制大学進学者5名以上、就職希望者の就職決定率100%とする」ことについて A いずれの目標も達成できた B 片方の目標を達成できた C どちらの目標も達成できなかった | Cは具体的な改善策を検討する。 | 進路実績 |

| | | | | | | | 石川県立内灘高等学校 | |
|------|---|---------------------------|---|---|--|-------------------|----------------------------|--|
| 重点目標 | 具体的取組 | 主担当 | 現状 | 評価の観点 | 実施状況の達成度判断基準 | 判断基準 | 備考(時期・対象) | |
| 2 | 挨拶や人間関係づくりなどに留意した生徒指導と教育相談の実践 生徒の基本的生活習慣の確立を図り、規範意識を高めるとともに、18歳成人に向けて、自分の個性や適性を考え、自分の将来を決定する力を育む。 | 生徒課 保健相談課 総務課 学年 | スマートフォンの不適切な使用等の指導がなされ、いじめがなく安心して学校生活を送ることができている生徒が77%いるが、若干不安を抱える生徒も存在する。 | 【満足度指標】 生徒がいじめのない安心できる学校生活を送ることができる。 | 「学校はいじめに対しての取組や指導をしっかり行っている」と回答する生徒の割合が A 90%以上 B 80%～89% C 70%～79% D 70%未満 | C、Dは具体的な改善策を検討する。 | 学校評価アンケート(7月、12月/生徒対象) | |
| | | | 18歳成人に向けて、自分の将来をデザインする力の育成が求められている。 | 【努力指標】 家庭において、スマートフォン等の使用ルールを決め、ルールが守られている。 | 「家庭において、スマートフォン等の使用ルールが守られている」と回答する保護者の割合が A 60%以上 B 50%～59% C 40%～49% D 40%未満 | C、Dは具体的な改善策を検討する。 | 学校評価アンケート(7月、12月/保護者対象) | |
| | | | 昨年度は生徒85%、保護者95%の肯定的回答を得ているものの、転退学者が若干名いることを踏まえて、目的意識を持って高校生活を送ることが求められている。 | 【努力指標】 課題探究を将来につなげるテーマとしてとらえている。 | 課題探究について「自分の将来につなげるテーマを考えた」とする生徒の割合が A 70%以上 B 60%～69% C 50%～59% D 50%未満 | C、Dは具体的な改善策を検討する。 | 学校評価アンケート(12月/生徒対象) | |
| | | | | 【満足度指標】 生徒は本校に進学して良かった、保護者は進学させて良かったという満足度が一層向上している。 | 「本校に進学して(させて)良かった」と回答する生徒・保護者の割合が A 80%以上 B 70%～79% C 60%～69% D 60%未満 | C、Dは具体的な改善策を検討する。 | 学校評価アンケート(7月、12月/生徒・保護者対象) | |
| 3 | 外部との連携と社会参画意識の醸成 同窓会や地域との連携や情報発信に努め、地域から信頼され必要とされる学校を目指す。 | 総務課 | 生徒が社会参画する場面を同窓会や地域の行事を通しておこなってきたが、コロナ禍で行事が減少しているため社会参画意識の向上につながっていない。 | 【努力目標】 同窓会や地域との連携に基づくイベントや行事を通して、生徒が地域に目を向け、社会参画意識を高める。 | 「同窓会や地域との連携を実感した」と回答する生徒の割合が A 70%以上 B 60%～69% C 50%～59% D 50%未満 | C、Dは具体的な改善策を検討する。 | 学校評価アンケート(7月、12月/生徒対象) | |
| | | | コロナ禍において地域連携が希薄になっており、本校を地域に広く理解していただくためにも、学校の教育活動の積極的な情報発信に努める。 | 【努力指標】 ホームページの一層の充実等により学校の取組についての情報発信を行う。 | 「情報発信が効果的にされており、学校の教育活動が理解できる」と回答する保護者の割合が A 80%以上 B 70%～79% C 60%～69% D 60%未満 | C、Dは具体的な改善策を検討する。 | 学校評価アンケート(7月、12月/保護者対象) | |
| 4 | 教職員の多忙化改善 時間管理を意識し、業務分担と協力体制により、業務の効率化を図る。 | 教頭 | 昨年度、担当業務においてタイムマネジメント意識を高め、効率的な業務と協力体制の構築により、時間外勤務の縮減につながったと回答した教員が62.5%にとどまった。引き続きワークライフバランスを意識することが求められている。 | 【成果指標】 各自が効率よく業務分担を図り、時間外勤務の縮減に努める。 | 「担当業務においてタイムマネジメント意識を高め、効率的な業務と協力体制の構築により、時間外勤務の縮減につながった」と回答する教員の割合が A 70%以上 B 60%～69% C 50%～59% D 50%未満 | C、Dは具体的な改善策を検討する。 | 学校評価アンケート(7月、12月/教員対象) | |
| | | | | 【努力指標】 各課主任や学年主任が担当課において、業務の効率化に積極的に取り組んでいる。 | 「業務の割り振りや効率化を図ることについて積極的に取り組んでいる」と回答する主任の割合が A 70%以上 B 60%～69% C 50%～59% D 50%未満 | C、Dは具体的な改善策を検討する。 | 学校評価アンケート(7月、12月/主任教員対象) | |